

第十八回 国指定名勝楽山園投句会入選作品

季節『冬』

期間 平成三十年十一月一日～平成三十一年一月三十一日

選者 高橋洋一（群馬県俳句作家協会顧問・俳誌「絹」主宰）

一般の部

賞	作品	住所	氏名
最優秀賞	御殿池緋鯉を透かす薄氷	東京都杉並区	杉山 渉
優秀賞	冬の朝氣息整へ弓を引く	甘楽町	工藤 俊子
優秀賞	初春や楽山園に晴着の鯉	富岡市	飯塚 昭子
優秀賞	化粧なき花魁のごと冬木立	藤岡市	工藤 富恵
入選	御殿池の寒鯉動き初む真昼	下仁田町	堀越 静子
入選	借景の山風に鳴る白障子	富岡市	市川 とく江
入選	春を待つ楽山園の息吹かな	高崎市	横山 知子
入選	御殿池氷の下に潜む鯉	藤岡市	黒澤 蓮子
入選	初明り屋敷御門の石垣に	安中市	佐藤 直美
入選	飛石に千鳥の番楽山園	東京都足立区	加藤 和男

こどもの部

賞	作品	住所	氏名
特別賞	ふゆの日にこいのうろこがきらきらと	高崎市	坂本 ちひろ